

サーボモーター交換手順

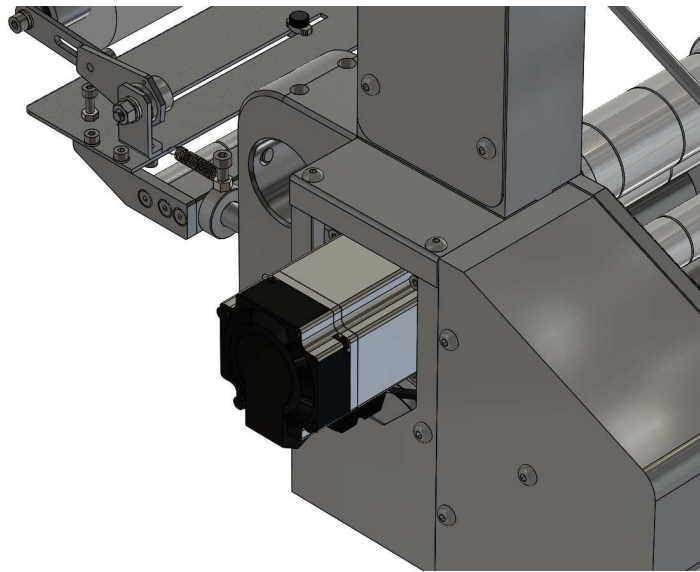
AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-5 シリーズ



警告

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つようお願いします。



本手順書はラベラーに以下の症状が発生した場合にご参照ください

- サーボエラーが発生する
- ラベルが正常に繰り出されない。
- モーターが回らない。

交換前の準備

本手順書には、**数値を記録する手順**が含まれております。(手順 3)
非常に重要な数値となりますので、記録した際はお忘れのないようメモの準備をお願いいたします。

サーボモーター交換手順

警告

- 交換を行う前に、操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。
- 印字部周辺、駆動部周辺は高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。

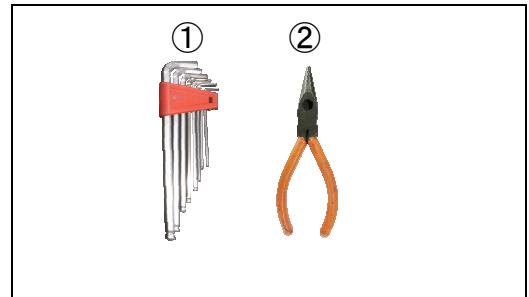
< 交換前の確認と処置 >

以下を確認しサーボモーターの動作不良が解消する場合、サーボモーターを交換する必要はありません。

- モーター周りの各種ケーブルの緩み、または抜けがないか確認してください。一度コネクタを抜き、再度差し込んでください。
- モーター固定箇所のネジの緩みがないか確認してください。緩んでいる場合は、増し締めを行って固定してください。
- タイミングベルトの緩みすぎていないか、確認してください。緩んでいる場合は【手順 14】を参照し、タイミングベルトのテンション調整をしてください。
- フィードローラー固定ネジの緩みがないか、確認してください。緩んでいる場合は、増し締めを行い固定してください。

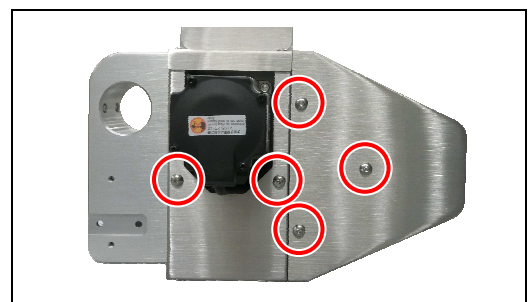
作業開始前にご準備頂くもの

- ① 六角レンチセット
- ② ラジオペンチ



1 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

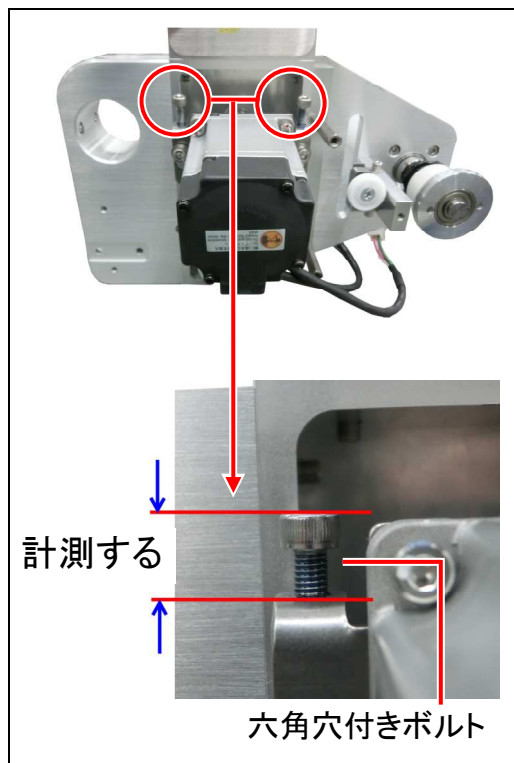
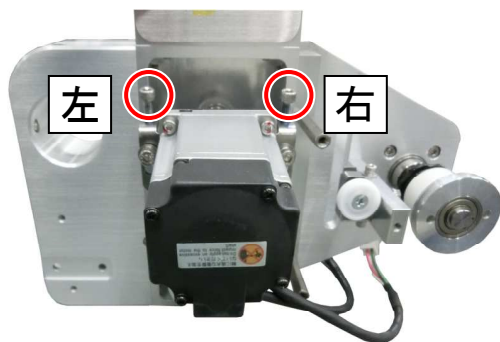
2 裏面のカバー部分を六角レンチで外します。



3 サーボモーター上部のボルト(六角穴付きボルト×2本)のネジ余りの長さ(約10mm)を計測します。

- 計測した数値はサーボモーター交換後に使用しますので、下記の記入欄に**必ず記録しておいてください**。

左 : mm
右 : mm



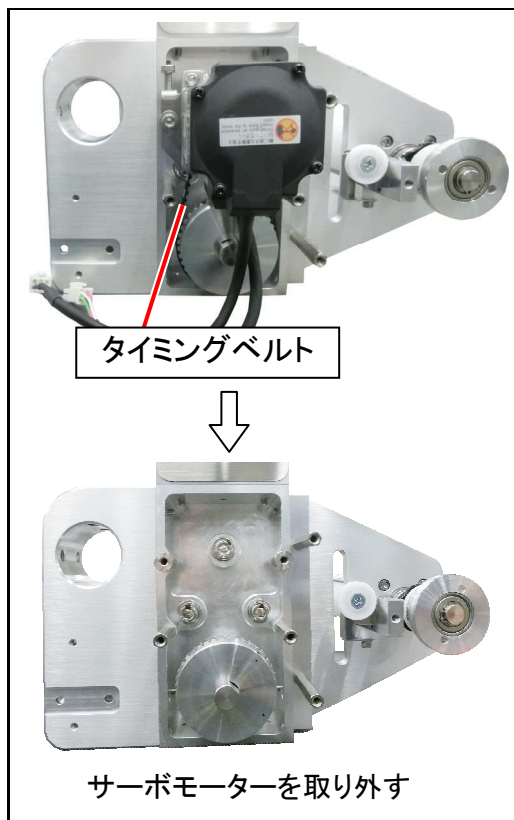
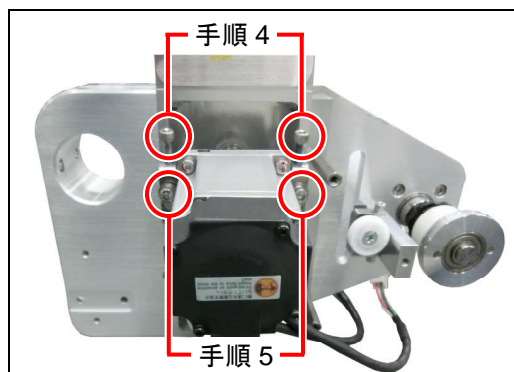
4 図示の箇所のネジ(M5×2本)を緩めます。

5 図示の箇所のセットビス(M5×2本)を緩めます。

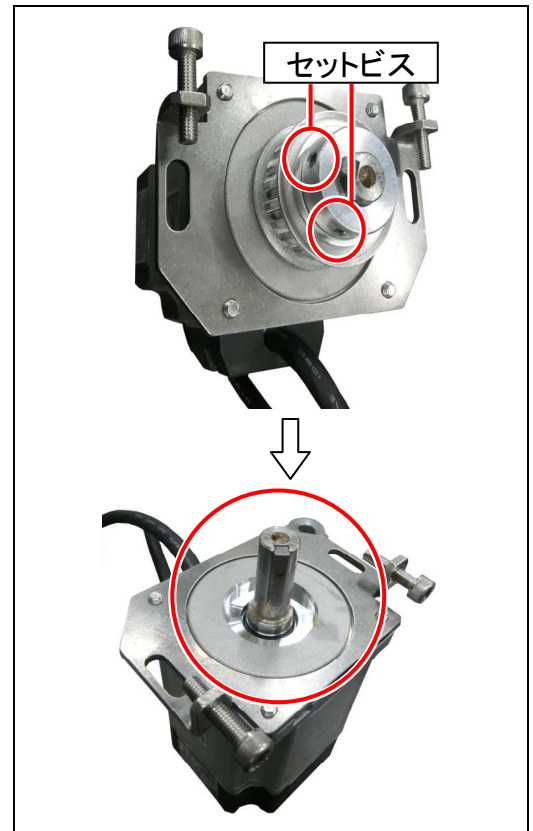
- サーボモーターをラベラーから取り外せるようになります。

6 モータープーリーからタイミングベルトを外し、サーボモーターを取り外します。

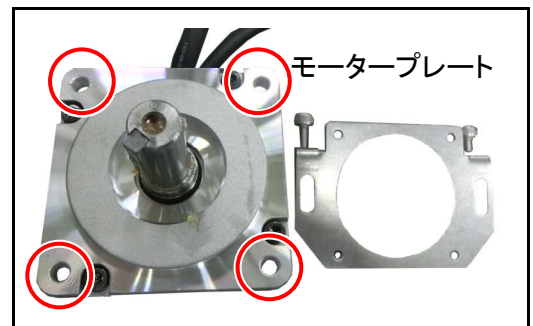
- 取り外したサーボモーターを落下して破損させないように、取り扱いには十分ご注意ください。
- タイミングベルトは紛失しないよう、ご注意ください。



- 7 図示の箇所のセットビス(×2本)を緩め、モータープーリーを受け軸から引き抜きます。



- 8 図示のネジを取り外し、モータープレートを取り外します。



- 9 サーボモーターを新品のサーボモーターに交換します。



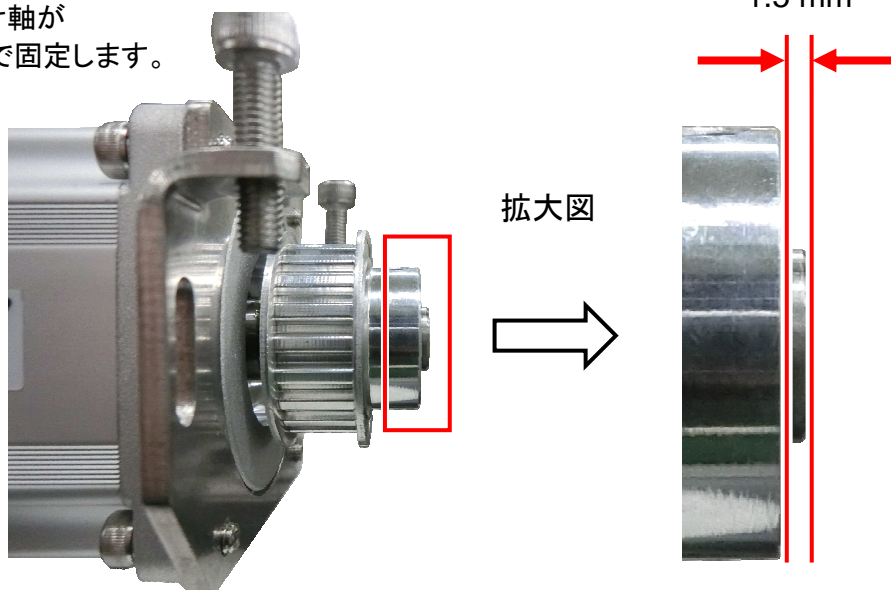
10 サーボモーターにモータープレートを取り付けます。

- サーボモーターは、ケーブルが下向きになるよう取り付けてください。

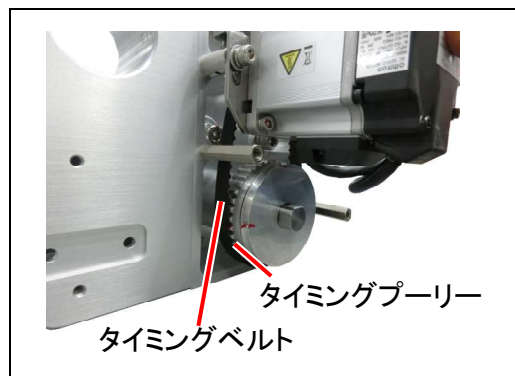


11 モータープーリーを受け軸に差し込みます。

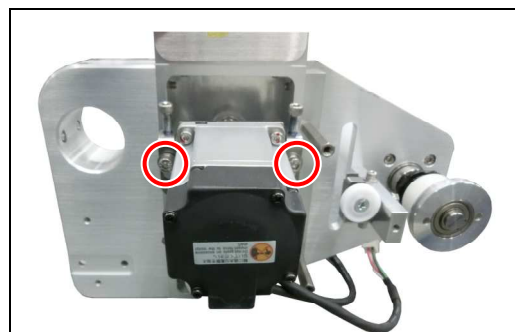
- モータープーリーは受け軸が 1.5 mm 突出する位置で固定します。



12 タイミングベルトをタイミングプーリーに取り付けます。

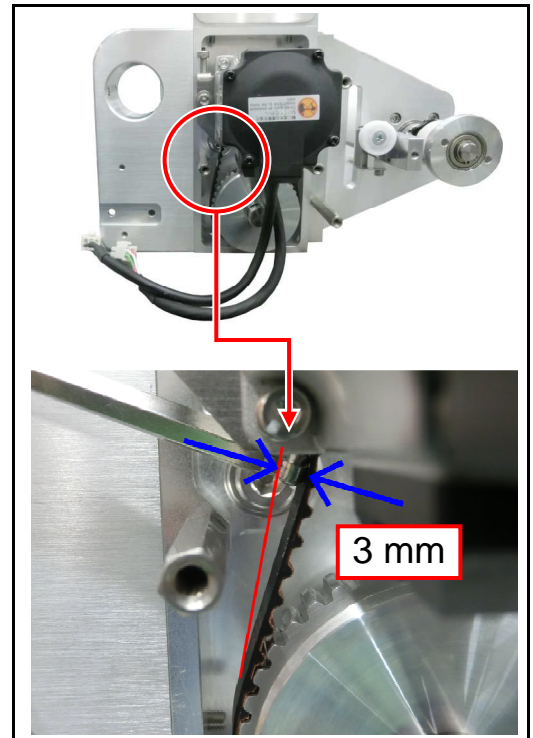


13 図示の箇所のネジ(×2本)を取り付け、サーボモーターをラベラーに固定します。

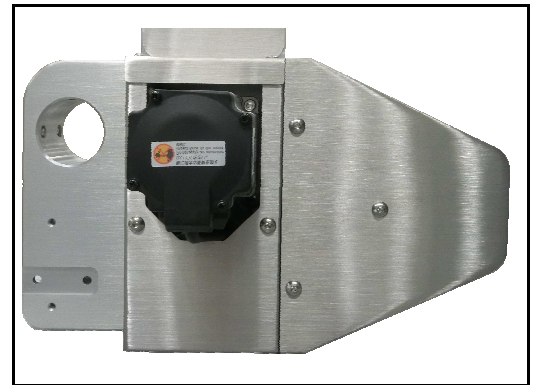


14 タイミングベルトの張力を調整します。

- 手順 3 で記録した数値になるよう、六角穴付きボルトの長さを調節します。
- タイミングベルトの張力は、タイミングベルトを押して 3 mm 凹む程度が目安です。



15 手順 2 および 3 で外したネジを再度締め直します。



16 ラベルをセットし、電源を投入してテスト貼付運転を行います。

- 発生していた現象が改善され、ラベル貼付が正常に行えていることが確認できれば交換完了です。